



時事評論家 増田俊男

「小冊子」(Vol.72)入稿

インサイダー情報

ワシントン D.C.での防衛会議、ロンドンでの EC (ヨーロッパ委員会) と BOE (バンク・オブ・イングランド) のエージェントとの会合、ジュネーブ (スイス) での貴族会、モナコでの金融サミットなど目まぐるしい毎日だか、やっと「小冊子」(Vol.72) の原稿を書き終えた。

安倍内閣が再軍備を急がねばならないのは何故か、オバマ政権が中国の強引とも言えるアジア覇権に口は出しても行動しない理由、中国の尖閣諸島攻略、日中中間線での武装化が迫る中で何故アメリカは沖縄から撤退するのか、

アメリカはブッシュ政権の 2003 年 3 月 17 日バクダッド火の海作戦からイラク、アフガニスタンから全軍撤退までに 200 兆円相当と 4,000 人を超える犠牲を出したが、中東戦争で常にアメリカの敵を支援してきたイラン革命以来 36 年間アメリカの宿敵であったイランと核合意 (7 月 14 日) を結び、今後の中東の秩序をイランに任せようとしている。これは一体どういうことなのか。

クリミア併合、ウクライナ東部制圧とロシアの東欧への侵攻は日増しにエスカレートしているが、ポロシェンコ大統領 (ウクライナ) の訪米、直談判にオバマ大統領はソッポ。オバマ政権はまるでロシアを支援しているかにさえ見える。何故か。

日本の真珠湾攻撃の真相を明らかにすることで誰にでも納得出来るよう「信じられないようなアメリカの真意」を分かりやすく解説しました。

また目前に迫った二種類の NY 株式市場の大暴落について述べました。

一つは循環調整型暴落、他は資本主義制度の構造型暴落です。

どちらも FRB (連邦準備理事会) がセットし、近々実行に移されます。

現在「目が覚める逆境投資戦略」という題名で市場動乱時代を勝ち抜く投資指導書の執筆中です。

オバマ・習近平首脳会談 (9 月 25 日) は私が考えている通りの「裏取引」があるはずですが、これを確かめた上で書き上げるつもりです。

遅くとも 9 月 30 日には出来ると思います。

「小冊子」(Vol.72) の購読者にもれなく無料で贈呈させていただきます。

増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所 Tel：03 3955-6686、HP：www.chokugen.com まで。

【最近の配信履歴】

- 9月15日(水) No.568 「乱れ月」の9月
- 9月9日(水) No.567 ワールド・スペシャル・レポート第二弾発信！
- 9月8日(火) No.566 中国経済のハードランディング無し！
- 9月7日(月) No.565 三度目の正直

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前に株式会社増田俊男事務所 (Tel.03-3955-6686) までお知らせ下さい。